

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日

平成 22 年 10 月 1 日 (金) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
6368 3 (5A100)	特異的IgE (シングル アレルゲ ン)	ω-5グリア ジン	血清 0.3	↓ X	凍結 (14日)	2~4	110 ※5	FEIA	下記参照
6369 1 (5A100)		カシューナッ ツ	血清 0.3	↓ X	凍結 (14日)	2~4	110 ※5	FEIA	下記参照
6367 6 (5A100)		マラセチア (属)	血清 0.3	↓ X	凍結 (14日)	2~4	110 ※5	FEIA	下記参照

※5：免疫学的検査判断料

●特異的IgE (シングルアレルゲン) (判定基準)

クラス	特異的IgE抗体価 (U _A /mL)	判定
6	100以上	陽 性
5	50.0~99.9	
4	17.5~49.9	
3	3.50~17.4	
2	0.70~3.49	
1	0.35~0.69	疑陽性
0	0.34以下	陰 性

●特異的 I g E (シングルアレルゲン)

● ω -5 グリアジン／●カシューナッツ／●マラセチア (属)

● ω -5 グリアジン

小麦は、「特定原材料」として食品への表示が義務付けられている代表的な食物アレルゲンです。また、食物依存性運動誘発アナフィラキシー (FDEIA) を誘発する頻度が最も高いアレルゲンとして知られています。 ω -5 グリアジンは、小麦グルテンの構成タンパクの一成分で、小麦依存性運動誘発アナフィラキシー (WDEIA) の主要抗原であることが明らかになり、本検査は、感度・特異度の高い WDEIA の診断法として期待されています。

FDEIA : Food-dependent exercise-induced anaphylaxis

WDEIA : Wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis

●カシューナッツ

ナッツ類は、強いアナフィラキシーショックを起こすアレルゲンとして知られており、日本でも、ナッツアレルギーの患者は増加しています。

カシューナッツは中華料理や菓子などに使われるだけでなく、最近では隠し味として、目に見えない形で広範囲に使用されるなど、食環境が変わってきています。そのため、原因食物の特定や除去が困難な場合があります。

また、他のナッツアレルギーがない場合でも、カシューナッツアレルギーを起こす症例が報告されています。重篤な症状に至る可能性があり、今後注意を要するアレルゲンのひとつです。

●マラセチア (属)

マラセチアはヒトの皮膚に常在する真菌で、近年、アトピー性皮膚炎の増悪因子として注目されています。アトピー性皮膚炎患者の抗体陽性率が、真菌の中ではマラセチア (属) が最も高く、アレルゲン全体としても、室内塵、ダニ、スギに次ぐ高い陽性率であることが報告されています。

本項目は、マラセチア属の中で主要な3菌種 (*Malassezia sympodialis*, *Malassezia restricta*, *Malassezia globosa*) を抗原としています。

▼検査要項

検査項目名	特異的IgE (シングルアレルゲン) ω -5 グリアジン	特異的IgE (シングルアレルゲン) カシューナッツ	特異的IgE (シングルアレルゲン) マラセチア (属)
項目コード No.	6368 3	6369 1	6367 6
略語	F416	F202	M227
検体量	血清 各 0.3 mL		
容器	X (ポリスピッツ)		
保存方法	凍結保存してください。		
保存安定性	凍結保存で14日間		
所要日数	2~4日		
検査方法	FEIA		
基準値	クラス 0 0.34 U _A /mL以下		
検査実施料	1アレルゲン110点 (「D015」血漿蛋白免疫学的検査「11」)		
検査判断料	144点 (免疫学的検査)		
備考	判定基準は前ページをご参照ください。		

●参考文献

奥田 勲, 他: 医学検査46 (10) : 1525~1530, 1997. (検査方法参考文献, 3項目共通)

相原 雄幸: アレルギー56 (5) : 451~456, 2007. (ω -5グリアジン)

池澤 善朗, 他: アレルギー・免疫12 (12) : 114~122, 2005. (マラセチア (属))